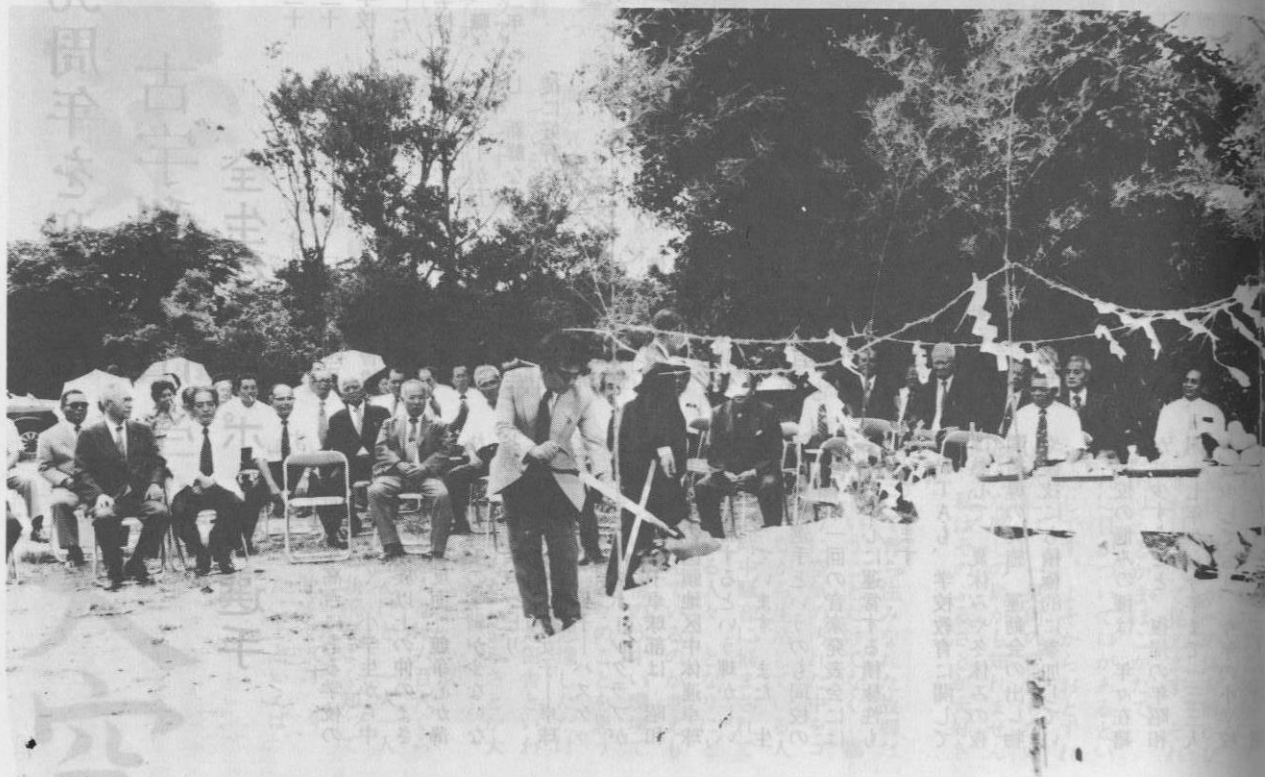


村章

(毎月1日発行)



▲幸地新蔵先生の碑が勢理客に

幸地新蔵氏の顕彰碑が、幸地新蔵顕彰会（山城善三会長、仲宗根政善副会長）の手によって勢理客公民館の東側に建立されることになり、5月25日午後2時から松田村長を含め、関係者50人が列席し、地鎮祭が行なわれた。

幸地氏は、明治24年勢理客に生まれ、学校長、村農協長、立法院議員を歴任。昭和28年3月逝去されるまで村の発展のためにご尽力された。なお除幕式は7月19日の予定。（写真＝地鎮祭で鍬入れを行なう関係者）

今帰仁村の人口(昭和55年4月30日現在)

人口 10,224(-38)

()内は前月比



5,170人(-17)



5,054人(-21)



世帯数 2,745戸(+2)

- 二・三 多くの学校わたしの学校施設が充実する北山高校 楽しかった移動博物館
- 六 役場A・天底が優勝
- 七 (第十四回村野球大会) 村民コーナー 私の一言
- 八 頑張ってます(今帰仁盆栽クラブ)
- 九 保育所の保母を新採用
- 十 人物スポット 村政Q&A
- 十一 村から無年金者をなくそう
- 十二 村民カレンダー

目次

編集発行：今帰仁村役場企画室

〒905-04 沖縄県今帰仁村字仲宗根219 電話 098056-2101

印刷：沖縄高速印刷株式会社

南風原町字兼城577 電話0988-89-5513



90周年を迎えた

古宇利小中学校

全生徒がスポーツ選手

村の唯一の離島で、明治二十三年四月十三日に、生徒数三十一名で創立した古宇利小中学校は今年で九〇周年を迎えました。現在、幼稚園児七人、小学校四十一人、中学校三十三人、職員十八人で、小学校一年三年、四年が複式学級です。

昭和五十一年八月に、待望の屋内運動場が完成。五十二年四月に水道の給水が始まり、校舎建築とあわせて施設の充実が図られてきました。さらに単独給食センターが五十三年八月に完成

風光明媚な高台にある学校の雰囲気は明るく、小学生から中学生まで、家族以上の仲のよさを見せます。反面、競争心が薄れる。家庭での学習が少ないなど、部活動としては、女子卓球女子バレー、男子バスケットと、三つのスポーツクラブがあり、特に女子卓球部は、昭和五十二年の国頭地区中体連卓球大会で優勝するという輝かしい実績を持っています。また、生徒全員が選手というのも同校の特徴。年一回の音楽発表会には生徒を中心に運営する積極性もみせています。



楽しく勉強する一年と二年の複式学級

校長	永昌重勇
副校長	好吉
PTA会長	嘉代子
PTA副会長	司書1、書記1、
職員	事務員1、世話人1、計18

児童生徒数の移りかわり

年度	小学校	中学校	計
昭和46年度	134	73	207
47	129	78	207
48	122	66	188
49	99	72	171
50	87	70	157
51	77	75	152
52	62	65	127
53	50	57	107
54	44	46	90
55	41	33	74



しかし、学校全体の擁壁や排水、道路の整備はこれから課題。同校の岸本好永校長は「今年が百周年に向けての始動の年にしたい。古宇利の生徒は素直で、明るく、ねばり強い。また、家の手伝いもよくやるし、問題のある子は一人もいない」と、生徒達を全幅信頼している。

同校の悩みの種は、年々在籍が減少すること。復帰の年昭和四十七年から今年まで一三三人が減少しており、今年の小学校の入学者はたった三人だけ。昭和

古宇利小中の お友だちの作品

えんそく

玉城正彦(小四)

きょうは、みんなのたのしいえんそくです。きょうは、えんそくだから、みんなは、はりきっています。ぼくもはりきっています。えんそくで行くところは、海ようはくきねんこうえんです。

船のつたり、マイクロバスにのって、海ようはくきねんこうえんにつきました。海ようはくきねんこうえんは、いとところでは、おきなわの村です。つぎは、いさお君と、かつや君、ぼくと先生の四人だけ、アクアポリスに行きました。アクアポリスにはめずらしいことがいっぱいありました。

私のふるさと 古宇利島

玉城晴美(中三)

青く澄んだ海に囲まれきれいに澄みきった空気に包まれた島それが私のふるさと古宇利島である。どこを見渡しても四方青く澄みきったコバルトブルーの海で、公害もほとんどない。古宇利島と本島とを結ぶ唯一の交通機関である古宇利丸が時間おきに運天港と古宇利港を行き来しています。

私の家は海をすぐ目の前にして、朝起きると透き通った海が気持ちよく楽しい一日がやってくるぞとあいさつしている感じ。真夏になるとコバルトブルーの海は、太陽の光を一杯に浴びてキラキラ輝き、小魚がピチピチはねている感じが、古宇利丸から見える島は、家はまばらしか見えませんが、緑

の木々が多く島のはほぼ中央に青い屋根、白いかべの体育館がひととき目立って見えます。それはちょうどかまはこがたで、それに目がついて口があるという感じ。よそからおとずれる人には、一見何の変哲もない平凡な感じの島かも知れませんが、私はそのふるさとが大好きです。

ここで育ち住みなれた故郷だからということだけでなく、都会のように空気の汚れた中をゴミを吸いながら生活している人々、四六時中騒音に悩まされて生活している人々、となりどころな人が住んでいるのかさえもわからない人情のうすい環境で生活している人々のことを思うと、都会の生活は想像しただけでも嫌です。たとえ田舎といわれても私は心からふるさとが大好きです。

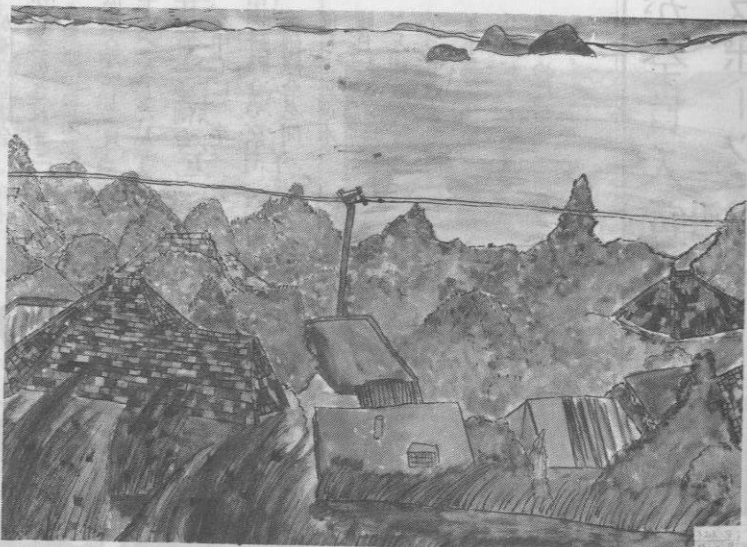
私達の島の人々は六百人ぐらいいしかいませんけど、一人一人が古宇利島の状況をよく知っているのがうれしいのです。今、私達島の困ったことといえば、

▲古宇利小3年 金城和広



▲「花」古宇利小4年 徳元かおり

大空春の光



▲「風景」古宇利小6年 久場栄子

▲古宇利中1年 具志いつ子



楽しかった 第2回移動博物館

貴重な陶器写真を展示

沖繩県立博物館、今帰仁村、今帰仁村教育委員会の三者共催による「移動博物館」は、参観者一、三三七人と盛況のうちに幕を閉じました。

五月十六日、十七日、十八日の三日間、中央公民館で行なわれたこの催しは、初日からあいにくの雨となりましたが、団体一七六人、個人一九五人（合計三七一人）が参観し、二日目一団体八四人、個人四〇四人（合計四八八人）三日目一五一人と、日を追って人気を集めました。

今回展示されたのは、「沖繩松田村長・外間博物館長・上間村教育長によるテーブカット

の陶器名品展」「戦前の沖繩写真展」「沖繩の天然記念物の動物写真展」など、博物館内でも貴重なものばかり。その他、大城逸朗学芸員、宮城篤正学芸員による文化講演は大きな感銘を与えてくれました。また、小さな子供たちからお年寄まで人気のあつた映写会は素晴らしいものでありました。

県立博物館の外間正幸館長は「博物館から遠く離れた県民の方に利用していただく機会の少なかつたことの反省にたつて、移動博物館を企画しました。一人でも多くの方が参加し、何かを感じていただければ幸いです」と話していました。

日頃、芸術や文化の香りに触れる機会の少ない私たちにとつ

て、今回の催しは素直なプレゼントになりましたが、あなたは何かお感じになりましたか。

伊佐真昭さん（字湧川一七二八）が五位に。男子卓球（片前腕腕断）に出場した金城吉春さん（字与那嶺四五五）が二位に、それぞれ入賞しました。

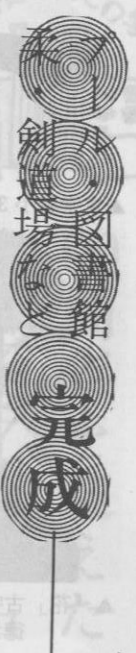
なお、北部福祉事務所管内は、順位的にはあまりふりませんが、この大会では、今帰仁村の選手が毎回上位入賞する活躍をみせています。

得るまで約三カ月かかります。農地転用して新築等の計画のある方は、早めに転用申請しましょう。

なお、申請書の受付は、毎月二十日に締切り、二十五日の総会に提出するようになっていきます。農地のことで知りたいことがありましたら、農業委員会（TEL二二五六）まで申し出て下さい。



▲見学者でにぎわった展示会場（中央公民館ホール）



施設が充実する北山高校

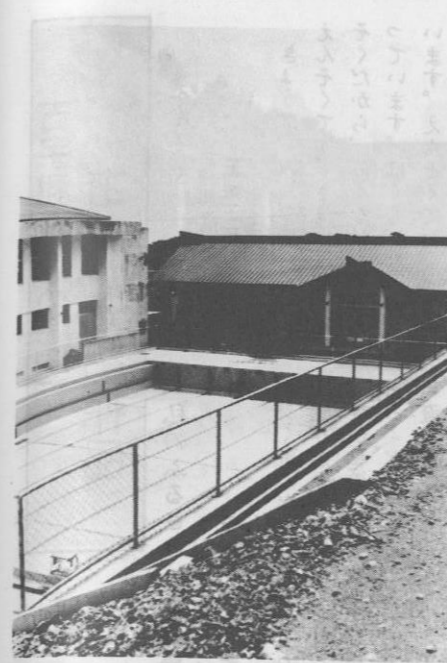
北山高校（又吉慶次校長）では、このほど、水泳プール、柔剣道場、図書館が完成し、さらには、化学教室、普通教室の建設など、急ピッチで整備が進んでいます。

まず、三五〇平方メートルの柔剣道場は、鉄筋コンクリートカラー鉄板ぶきで、四、七七三万円をかけた豪華なもの。畳八十三枚を敷きつめてもまだ余裕のある道場では、すでに生徒達のがびびと練習を始めています。

水泳プールは、二十五メートル、七コースで、管理塔を含め、

総工費七、三四六万円。同校では「県でもプールを持っている高校はわずか。海を前にしながら全体的に泳ぎの基本ができてないので、技術指導に役立たい」と期待をかけています。

また鉄筋コンクリート造築として、二六三平方メートルの図書館が二階に、四三八平方メートルの普通四教室が三階にそれぞれ建設されました。総工費は七、六九五万円。さらに、一、六八〇万円をかけた、二七五平方メートルの化学教室、普通三教室も、昨年十一月に完成しています。



▲完成した北山高校のプール、柔剣道場

優良協議会 として表彰 —村民生委員協議会—



五月十六日、那覇市の労働福祉会館大ホールで行なわれた「第七回沖繩県民生委員、児童委員大会」において、今帰仁村民生委員協議会（総務一仲里正吉氏）が優良協議会として大会長から表彰されました。

村民生委員協議会は、委員十六人（男一十人、女一六人）の構成。毎月十三日の定例会を中心に、事例研修会や交換研修会を開催し、毎週水曜日には心配ごと相談を行なっています。さらに、村の福祉事業に積極的に参加するなど、広汎にわたって村の福祉の充実のために活発な活動を続けています。



▲大会へ参加した村民生委員の方々

村内の出場者が全員入賞

身体障害者が、スポーツを通して体力の維持増強を図るとともに、身障者に対する一般社会の認識の向上を図ろうという「第十三回沖繩県身障者スポーツ大会」（沖繩県など三者共催）が、五月十八日沖繩市陸上競技場で行なわれました。

この大会には、北部福祉事務所管内代表として、村から三選手が参加し、全員が入賞する活躍をみせました。

まず、男子ヤリ正確投（片大腿切断）に出場した上間精治さん（字今泊三一四）が一位に。男子砲丸投（聴力）に出場した

農地の売買・転用の時には 必ず村農業委員会へ

沖繩県で農地法が施行されたのは、復帰後で本土より二十年余もおくれており、農家の方もまだまだ農地法に関心がないように思われます。

農地法の施行に伴い、農地の権利移譲等にいろいろな条件があります。また、農地の売買の場合、農業委員会へ申し出ておっせんを受ければ、税金の軽減

第十四回村野球大会

役場Aチーム(職域)が優勝 天底チーム(同好会)

村体協主催による「第十四回今帰仁村職域野球大会」が、五月十日、十一日、十八日の三日間にわたって、村営グラウンド、今中グラウンドにおいて開催された。今回の参加は職域の部が八チーム、同好会が九チームの十七チーム。決勝戦は、職域、同好会とも十八日に行なわれ、職域の部では



▼職域の部の決勝
役場A一本今消防戦

▲同好会の部の決勝
天底一両運天戦

は役場Aと本今消防が進出。投打に勝る役場Aが、六村一で優勝し優勝を飾りました。殊勲賞―大城秀輝(役場)敢闘賞―仲村寿男(消防)打撃賞一位―大城秀輝、二位―仲宗根武一(消防)三位―仲村寿男。

また、同好会の部では、天底と両運天の間で決勝が行なわれ、一対四とリードされた天底が、どたん場の七回表に猛攻をみせ六村四で逆転優勝しました。殊勲賞―松田善和(天底)敢闘賞―島袋俊郎(両運)打撃賞一位―長浜賢康(両運)二位―坂名城政直(天底)三位―島袋俊郎、運天政発(両運)なお、準決勝でホームランを打った内間敏政さん(今泊)にホームラン賞が与えられました。

村商工会が55年度総会

昭和五十五年「今帰仁村商工会通常総会」が、五月二十日、午後二時から中央公民館で行なわれました。

この大会には、会員二百一人のうち一三二人(委任七一人)が出席し、昭和五十四年度事業報告、収支決算、昭和五十五年予算、事業計画、理事選任などを行い、全会一致で提案どおり承認されました。議案審議に先立ち、座間味栄金会長は「会員の協力でこれまで以上の活動を実施し、村産業の発展に役立てたい」とあいさ



▲事業計画などを決定した村商工会総会

村教育委員会では、4月1日付で昭和55年各種委員の辞令交付を行ないました。新しい委員は次の方々です。

◎社会教育委員(兼任、公民館運営審議委員)

氏名	住所	連絡先
1 宮里 政典	字越地456	
2 志良堂 清次郎	字湧川285-1	湧川小中学校
3 山内 昌敬	字与那嶺429	今帰仁小学校
4 玉城 スエ	字今泊950	
5 名城 政健	字今泊4573	今泊キリストの教会

◎文化財保存調査委員

1 玉城 鎮天	字兼次47	
2 村上 仁賢	字兼次944	日本キリスト教団兼次教会
3 玉城 三郎	字越地327	
4 山内 昌藤	字諸名136	
5 古波蔵 政春	名護市	北山高校

◎体育指導委員

1 嘉陽 宗敬	字湧川1769	沖繩電力
2 仲宗根 武一	字今泊3152	本今消防
3 照屋 安子	字渡喜仁259	沖繩リゾートステーション
4 与那嶺 勝明	字今泊3108	村役場
5 宮城 正行	字天底552-3	村農協
6 大城 学	字仲宗根274-2	伊豆味小学校
7 比嘉 康雄	名護市名護3771-2	湧川小中学校
8 大城 洋子	字諸志40	中央保育所



東京今帰仁会のこと

東京都杉並区高井戸西二一七―三

松田 精賢 (医学博士)

広報「なきじん」を、幸福、(村長さん)から送ってもらって、毎号愛読しています。望郷というコトバには、ふるさとを遠く離れた者の持つ、哀愁とロマンが含まれています。若いうちは、世界は俺のためにあるという心意気があり、ノスタルジアは殆どない。年老いてくると、ふるさととは遠くにあるて憶うもの、という感傷だけでなく、いつも自分を遠くから見守ってくれる温い存在となつてきます。

東京今帰仁会というのは、在京(東京及びその近県)の今帰仁出身者が、適当な時期に集って郷里の情報を交換しながら、一日をたのしむ会です。お酒が入り興に乗ると、三味線としま歌が始り、踊りがとび出します。県外で生れ育った者は別として、若い頃、今帰仁で生活した者は誰方でも踊れます。会場が東京の豊島園や新宿の盛り場の時もあり、また、神奈川県の新

丸子の時もあります。その集りに私は、広報「なきじん」を持って行きます。熱心に読む者が多く、最後の者まで回るのには時間がかかります。在京北山会というのもあります。国頭郡出身者の集いで、私は顧問ということになっていますが、まだ一度も参加していません。私のように小学校の知人しか持たない者には、今帰仁出身以外の人達にはなじみが少ない。在京の者で、身を立って世に出ている方達は、殆どが中学校(旧制)以上の学歴を持っています。北山会でも県人会でも同じで、同窓の者が塊って談合します。私にはそれがありません。勿論、医師同志とか、大病院の同門会の者は居りますが、それは別の集りです。気を許して手放して騒げるのは、やはり今帰仁会です。郷里のみなさんにお願ひしたいことは、県外に居住する親戚友人に、読み終ったのでよいか

さわやかな

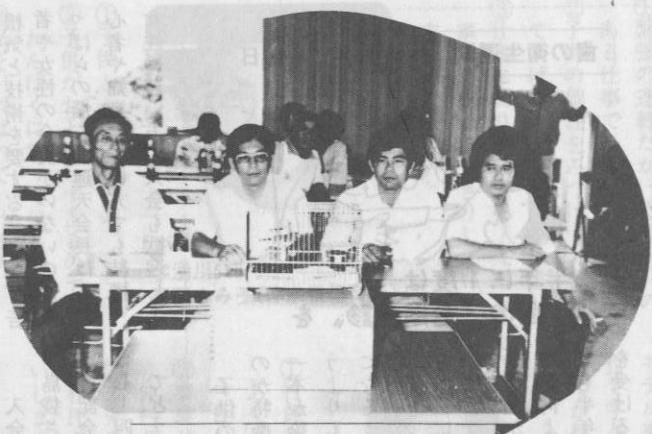
目白啼合大会

袋喜三郎氏主催の「コマです。目白は燕雀目の小鳥で、日本

「チュツ、チュツ、チュツ、チュツ」と、さわやかな小鳥のさえずりが会場一ぱいに。五月十八日、農協ホールで行なわれた、目白啼合大会(島

以南の低地の林に群棲し、さえずりが美しいため、一ばんポピュラーな愛玩として親しまれています。村内にも目白愛好会(大城正秀会長)があり、約四十人の会員が年一回大会を催すなど活動を続けています。十八日の大会には、村外からも多数の愛好家がつめかけ、鳴き声や数鳴を競いました。ちなみに、結果は次のとおり。

- 数鳴の部
 - 一位―渡嘉敷毅行(湧川)六七
 - 二位―山入端淳(名護)六三
 - 三位―平良直昌(玉城)六三
- 唄調への部
 - 一位―渡慶次憲盛(名護)
 - 二位―新里秀治(名護)
 - 三位―山城輝男(玉城)
- 長鳴きの部
 - 一位―山入端富康(仲宗根)
 - 十四秒



▶真剣な目でさえずりを審査

このコーナーは、村民の皆さんの日頃感じている意見発表の場です。村政に対する要望や家庭のこと、将来の希望など何でも結構です。村役場企画室広報係までお寄せ下さい。なお、ご意見は四百字詰原稿用紙二枚程度で、住所、氏名、職業を添えて下さい。※あて先
今帰仁村字仲宗根二二九
村役場企画室広報係(T
EL―二一〇一)

頑張っています

植樹や奉仕作業も実施

今帰仁盆栽クラブ



▲仲宗根保育所にガジュマルを植樹したクラブ員

村内には、活発な活動を続け

ているサークルやグループが数多くあります。今回からそれらのグループをシリーズで紹介していきたいと思っております。第一回目は、今帰仁盆栽クラブの登場です。会員十六名の今帰仁盆栽クラブは、運天政宏会長（辺土名小学校長）を中心に、毎月会員の家を持ち回りで技術向上や交流を深めています。当初、村内の七八名の盆栽愛好家でスタートした同クラブも、すでに十五年余の息の長い歴史を有します。結成当時、名護や本部に盆栽クラブがなかった関係で、今でも村外の会員がいるのも特色の一つです。

会の活動としては、木の植えかえ、枝かけなどの会員の相互扶助に加え、村産葉まつりへの出展、植樹などの奉仕作業にも熱意をみせており、以前は村内の松の消毒も実施していたとのこと。さる五月十日には、新設の仲宗根保育所に大きなガジュマルの木二本を植樹し、関係者から喜ばれました。会長の運天さんは「盆栽は山をあらすという誤解が一部にあります。しかし、創る、育てるといのが盆栽の本来の姿であり、会員だけでなく村民にもこのことを浸透させたい」と、自然を創る大切さを強調。さらに「公共施設の植樹など、村のためになるような活動を続け、緑化運動にも役立てたい」と、今後の抱負を語っています。

長い歴史を持つこのクラブも、根気と技術を要するせいか、若者や女性の会員がいないのがもっぱらの悩み。運天会長は「初心者や知識のない方でも結構。女性や若い方の入会も歓迎します」と入会を呼びかけています。入会希望の方は、事務局長の島袋さん（TEL144二五）書記会計の平良正安さん（TEL144三三二）か、会員の方までどうぞ。

歯の衛生週間 6月4日～10日



半年に1度は歯の「定期検診」を

子供のむし歯は、進行が速いのが特徴です。そのうえ、一本一本が徐々にむし歯になるというよりも、一度に数本がむし歯になることが多いのです。子供の歯は歯質が薄いので、むし歯になっても治療がしにくく、その上治療を怖がるなど厄介な面があるので、ふだんの予防が何よりも大切です。少なくとも半年に一回は「定期検診」を受けるのがよいでしょう。

山内先生が社会教育指導員に



「高齢者教室」の開講式であいさつする山内先生

社会教育の振興を図るため、県費事業として社会教育指導員設置費補助事業が行なわれていますが、四月一日付で、字謝名

一三六の山内昌藤先生（六十三歳）が村の社会教育指導員として委嘱されました。山内先生は、小学校教諭教頭を二十四年五ヵ月、社会教育主事四年七ヵ月、小学校校長七年を勤めた後、現在、村の文化財保存調査委員として活躍なさっています。今後は、これまでの経験をいかし、高齢者教育、社会教育団体指導、諸学級運営指導を担当し、村の社会教育の充実のために、指導助言されることになっていきます。なお、指導員の任期は一年間。

保育所新設に伴い

保母を新採用

モデル事業にも新職員

村役場では、仲宗根保育所の新設に伴い、四月一日付で内部異動を実施するとともに、四月二十一日付で九人の保母の新採用を行ないました。

そこで、全員独身である新しい保母さんの横顔と抱負を、一言づつのおぼえてもらいたいと思います。

※①仕事の感想②今後の抱負③理想の男性は



宇天底76-1 久田 保美(今帰仁保育所)

①可愛い子供たちに囲まれて楽しい。
②勉強して宮城まり子さんのような人になりたい。
③男らしいやさしさに満ちている人。



宇崎山80 仲村 順子(仲尾次保育所)

①自分に向いている仕事である。
②子供を伸び伸びさせてあげたい。
③平凡な人



宇天底1245 立津 洋子(仲尾次保育所)

①子供たちの一挙一動に驚き、喜びながら生きている。
②健康で、ゆとりのある子供と自分。さらに、素直な心で仕事をしたい。
③足が大地についた人



宇渡喜仁1033 照屋千賀子(中央保育所)

①毎日が楽しいが緊張も多い。
②いくつになっても、子供たちの素直な気持ちを受けられることができる保母でありたい。
③自分の仕事に誇りを感じている人。



宇兼次334 大城 京子(中央保育所)

①今とはとにかく無我夢中。
②子供たちと一緒に自分自身も成長していきたい。
③スポーツの好きな大らかな男性



宇運天1206 運天加津子(仲宗根保育所)

①毎日が充実している



宇越地43 米須みち子(仲宗根保育所)

①緊張の連続だが、やりがいのある仕事である。
②子供の個性をみつけ、のびしてあげたい。笑顔を忘れずに
③仕事に誇りの持てる人で、仕事と遊びがはつきりしている方



宇湧川586 嘉陽るみ子(仲宗根保育所)

①子供と一緒に楽しい。
②子供がおとなしすぎるので、わんぱくに育ててほしい。
③私を引っっぱってほしい。



宇天底165 大城利恵子(仲宗根保育所)

①入園当初は、子供たちと一緒に泣きながら過ごしたが、最近やっとおちついてきた。
②元気のある、明るく素直な子に育てたい。
③やさしくて信頼できる方。



経済課モデル事業係 島袋 隆則

また、経済課の農村総合整備モデル事業係として、三月八日付で宇与那嶺四二四の島袋隆則さんが採用されました。
①村民や工事関係者との調整もあり、大変な仕事だと思いが一日も早くなれたい。
②事業がスムーズにいこう、仲村さんについて頑張りたい。
③二児のパパ。村民の皆さん、よろしくお願ひします。



村の保健婦さんかわる
久米島から赴任した
宮城トモ子さん



▲笑顔が素敵な宮城さん

「ミツちゃん」の愛称で、長年村民に親しまれてきました保健婦の新里美智子さんが、県の人事異動に伴い、五月一日付で本部町保健婦駐在所に転勤になりました。
後任として、久米島仲里保健婦駐在所から宮城トモ子さんが、新しい保健婦として赴任しました。
宮城さんは、今年7歳の明朗活発なお嬢さん。読谷村伊良皆の出身で、琉大卒業後、三年の久米島勤務を経て、この度第一希望でスナナリ今帰仁へ。
今帰仁については「まだ何にもわからなくて、これといった目標はないが、細かいことは真部さんに教えてもらい頑張りたいです。」

薬物乱用防止推進員に
玉城鎮夫さんが

シンナー等の乱用防止のために、県環境保健部薬事課では、九〇人の「シンナー等薬物乱用防止推進員」を委嘱しています。今帰仁村では、字兼次四七の玉城鎮夫さん(TEL:二三六三三)が委嘱され、校外指導などに頑張っています。

村政 Q & A

国土利用法
について
① 国土利用計画法により、一定規模以上の面積の土地売買等を行うとする場合は、知事に届け出る必要があると聞いています。どのような手続きをすればよいでしょうか。又その法の概略を説明して下さい。
(字謝名、T・K 農業)
② 国土利用計画法は、近年における土地の投機的取引と地価の値上りを抑制することによって地価の安定と土地の乱開発の防止を図り、さらに遊休土地の有効利用を促進することを目的としています。

香典返し

玉城さんは「シンナー乱用者は未成年に多く、家庭や地域など、住民全体の目で監視してほしい。集会などのある時には出席してこれらの内容の説明もしますのでご連絡下さい」と話しています。
シンナー常習者の件や、これに関連するお問い合わせは、玉城さんの方までどうぞ。

パジチ(入れ墨)の調査に協力を

村文化財保存調査委員会では、六月一日から、村内の九〇歳以上のお年寄を対象に、パジチ(入れ墨)の調査を行います。これは、名護市文保委員、大宜味村文保委員との合同で行なわれ、ヤンバル全体の実態調査として実施されるものです。期間中、委員がおたずねし、年代や内容についてお聞きしますので、皆さんのご協力をお願いいたします。

これが最後のチャンス
今帰仁村から
無年金者をなくそう
特例納付も今月まで

国民年金特例納付制度は、今月で終了です。これが、最後のチャンスです。無年金者が、まだ一六〇人余りもいます。昭和五十三年七月一日より実施されてきた特例納付制度について、村としても広報なきじんを通して広報活動を強化してきました。



また、テレビ、ラジオ、新聞などで、幾度となく見たり聞いたりしているはずですが、しかし、村内では、約一六〇人余の無年金者がいます。国民年金を受けするためには、加入して保険料を納めないといけません。国民年金に当然加入しなければならないのに加入していない場合や、加入しているも保険料を納めていない場合このような人たちは、将来、年金を受けることができず、無年金者となります。村内から無年金者をなくそう

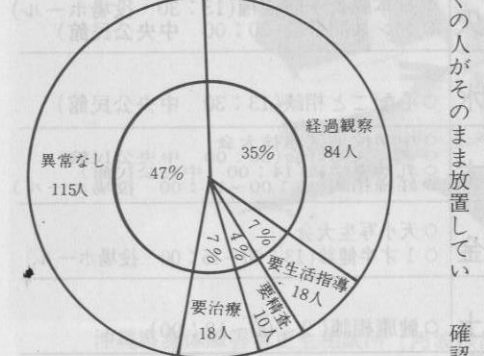
保健婦室から



成人病検診結果について

結核検診と置きあわせに、成人病検査が実施されてから三年目になります。各字の公民館で成人病に関する精密検査が行われるという事で、検診参加者も毎年増えつつあります。昨年十一月に行なわれた成人病検査に参加した人は、一、七九四人でした。そのうち、何らかの異常を有する人は七九四人で、全体の四四%を占めています。検査項目別に検査人員に対する

成人病二次検診結果 (S55年1月実施)



成人病検診結果 (S54.11月実施)

心電図	異常 (157人) 43%	異常なし (209人) 57%
コレステロール	異常 (82人) 24%	異常なし (261人) 76%
血圧	異常 (388人) 78%	異常なし (1,381人) 78%
Hb	異常 (1,591人) 90%	異常なし (1,591人) 90%

※ Hb: ヘモグロビン(貧血検査)

人(四七%)ですが、一三〇人(五三%)の人は経過観察又は要治療となっています。再検査の指示のあった人の中で、すでに他の医療機関で検査を済ませたり、あるいは治療を開始している人もいると思われ、多くの人がそのまま放置していると思われる。異常や再検査を指摘された場合は、医療機関等で適切な処置をとることが大事なことで、ただ検診を受けるだけでは検診の本来の意味はありません。今一度、手元の健診カードを確認してみましょう!

児童手当の現況届はお済みですか

児童手当の支給を受けている方は、毎年一回、六月に「児童手当現況届」を提出していただいています。今年(昭和五十四年)は六月十日(火)から十二日(木)までの間、村役場住民課福祉係で受けつけます。もし、この現況届を提出しませんでした、六月以降の支払いが受けられなくなりますので、必ず出すようにして下さい。※持参するもの
○印鑑 ○年金手帳 ○対象児童の住民票謄本(子供と別居の時)
○所得証明(昭和五十五年一月一日現在、本村に在住していない方)

なきじん版
6月1日～7月1日

村民カレンダー



1 日		17 火	○日本脳炎予防接種(3才～5才 13:30 役場ホール) ○湧小校内写生大会 ○ダンス同好会(20:00 中央公民館)
2 月	○衆議院選挙公示	18 水	○心配ごと相談(13:30 中央公民館)
3 火	○ダンス同好会(20:00 中央公民館)	19 木	○ダンス同好会(20:00 中央公民館)
4 水	○心配ごと相談(13:30 中央公民館)	20 金	○湧小開校記念日 ○体育指導委員会(17:30 中央公民館)
5 木	○ダンス同好会(20:00 中央公民館)	21 土	○今小創立記念日
6 金		22 日	○衆参議院選挙投票日
7 土	○健康相談(9:00～12:00 保健婦室)	23 月	
8 日	○県議選挙投票日	24 火	○日本脳炎予防接種(13:30 役場ホール) ○ダンス同好会(20:00 中央公民館)
9 月	○今小写生大会	25 水	○心配ごと相談(13:30 中央公民館)
10 火	○兼小校内音楽発表会 ○ダンス同好会(20:00 中央公民館) ○老人三味線クラブ定例会(14:00 中央公民館) ○入権相談(10:30 中央公民館)	26 木	○中学校地区球技大会 ○ダンス同好会(20:00 中央公民館) ○乳幼児学級(14:00 中央公民館) ○妊婦相談(13:00～15:00 役場ホール)
11 水	○心配ごと相談(13:30 中央公民館) ○乳児健診(13:00～15:00 役場ホール)	27 金	○天小写生大会 ○1才半健診(13:00～15:00 役場ホール)
12 木	○ダンス同好会(20:00 中央公民館)	28 土	○健康相談(9:00～12:00)
13 金	○村陸上クラブ月例記録会 (17:30 村営グラウンド)	29 日	
14 土	○健康相談(9:00～12:00 保健婦室)	30 月	○家庭看護実技指導(14:00～16:00 役場ホール) ※家庭看護受講希望の方は保健婦室か住民課へ ○村民税納期 お申し込み下さい
15 日		1 火	○ダンス同好会(20:00 中央公民館)
16 月	○老人クラブ定例会(14:00 中央公民館)	2 水	

■ 私たちの沖繩県は、五月十五日で復帰満八年を迎えました。県内の人口や観光客は年々増加し、昨年の観光収入は千七百八十億円と、復帰前に比べ十二倍に。しかし、米軍基地は依然として全国の五十三%を占め、全国の五割という医療や福祉のた遅れがめだちます。

■ わが村はといえば、以前に比べ著しい進歩をみせていますが、人口一万七〇一人から一万二二四人と四、六%の減、さらに児童生徒は五十四%の減と人口問題も深刻なものになっています。

■ 今回の「私の一言」は、遠く松田精賢さんからのご寄稿。精賢さんは、ご承知のように松田村長のご兄弟で、現在、東京で病院を経営なさっています。

■ 八日の県議、二二日の衆参院と、今月は選挙の月。特に二二日は、衆院、最高裁国民審査、参院地方区、全国区の四回の投票となります。あわてず落ちついて係員の指示に従いましょう。

編集後記

